Creative Enzymes®

ヒト由来フルクトース-1,6-ビスリン酸ホスファターゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1576

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	フルクトース 1,6-ビスリン酸ホスファターゼ (FBPase; EC 3.1.3.11) は、肝臓に存在する酵素で、グルコネオジェネシスにおいてフルクトース-1,6-ビスリン酸をフルクトース 6-リン酸に□換します。フルクトースビスリン酸ホスファターゼは、解糖系の過程に関与するホスホフルクトキナーゼによって触媒される反□の逆を触媒します。これらの酵素はそれぞれ一方向の反□のみを触媒し、フルクトース 2,6-ビスリン酸などの代謝物によって調節されており、一方の酵素の高い活性は他方の低い活性を伴います。これは多くの異なる代謝□路に関与し、ほとんどの生物に存在します。FBPaseは触媒に金属イオンを必要とし（Mg2+およびMn2+が好まれる）、この酵素はLi+によって強力に阻害されます。
別名	フルクトース-ビスリン酸加水分解酵素; EC 3.1.3.11; FBPase; ヘキソース二リン酸加水分解酵素

製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	液体。保存バッファー：50 mMリン酸カリウム pH-7.4、50 mM塩化ナトリウム、0.5 mMエチレンジアミン四酢酸、2.5%グリセロール。
EC番号	EC 3.1.3.11
分子量	36.8 kDa
純度	> 90%（密度測定）
活性	1525 pmol/min/μg
単位定義	1ユニットは、30°Cで1 nmolのNADPをNADPHに□換する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-80°Cで6ヶ月以上安定